

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、不祥事を許しません。
- 3 私たちは、教育的愛情と教育に対する使命感をもって、子どもたちを守り育てます。

不祥事根絶のための行動計画

大崎上島町立東野小学校  
作成責任者 校長 望月 浩和

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修において、新聞記事・記者発表資料・通知等の周知・徹底が中心となっている。</li> <li>○サービス研修が自己のものとなるよう意識する。</li> <li>○自校でも起こりうるという危機意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施し、研修効果が実感できるようにする。</li> <li>○教育公務員としての自覚を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。</li> <li>○国、県及び町からの情報を早急に周知し、サービス研修に生かし活用する。</li> <li>○法令等の遵守により、自分が守られていることを常々伝える。</li> <li>○ネームの裏へ「求められる教職員像」やサービスの自己目標を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的(学期に1回)に、サービス研修についてのアンケート調査を行う。</li> <li>○定期的に不祥事防止のためのチェックリストを実施する。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。</li> <li>○主体的に不祥事防止に取り組もうとする教職員が少なく、担当者に任せきりになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○悩みがあれば、何でも相談できる学校体制にするとともに、協働で課題解決する教職員集団にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各主任は、分掌の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○時には、何気ない会話をしながら教職員の悩み等を聞き取る。</li> <li>○職員室文化を創造する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○月1回の定例不祥事防止委員会で、校内の様子を聴取する。</li> <li>○管理職の面談を学期に1回実施し聴取する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント・パワー・ハラスメント相談窓口」の周知を保護者に行っているが、認知度が低い。</li> <li>○窓口表示を全教室に表示の設置をしているが、児童の認知度は低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント・パワー・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だより等で、保護者等に繰り返し(学期1回)周知するとともに、相談窓口担当の教職員等も認知させる。</li> <li>○学期末懇談会において、保護者から体罰、セクハラ、パワハラについて聴取する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年に2回、児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施し集約する。</li> <li>○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。</li> </ul>